

# とんぼ通信 174号

5月号

とんぼ小児科医院

臼杵市港町東1-4組 TEL63-5811

HP 以外 <http://www.tobobaby.com>

発行責任者：東保 裕の介

発行年月：令和元年5月

## ～ 平成から令和へ ～



5月1日から新元号の令和になりました。新しい時代の幕開けです。平成の時代は東日本大震災や豪雨災害などの多くの天災や地下鉄サリン事件などの様々な人災が起り、激動の30年間でした。今回の通信では、臼杵市での子どもに関する平成の30年間を振り返りつつ、新しい令和の時代が安寧（あんねい）な世の中になることを祈りたいと思います。

### Q1 出生数は？

平成元年の臼杵市の出生数は450人でした。その後漸減し、平成27年以降は190人前後と60%の減少となっています。これからは、子どもを産んで育てやすい環境を整えることを臼杵市に希望します。

### Q2 予防接種は？

平成元年の定期接種はBCG、ポリオ、麻しんなどわずか6種類でしたが、現在の臼杵市では任意接種のロタウィルス、おたふくかぜの全額補助もあり、14種類のワクチンを接種することで、子どもの命を守り、子どもを後遺症から救っています。

### Q3 特別支援教育・合理的配慮について

平成19年より学校現場で支援のいる子どもへの取り組みが始まりました。平成28年からは、「障害者差別解消法」により、「合理的配慮」が全ての学校、事業者に求められるようになっていきます。認定こども園にもその配慮が求められ、幼児期から適切な支援が受けられるように関係機関と一緒に努力しています。

### Q4 病児保育室「とんぼ」

平成23年に病児保育室「とんぼ」が開設され、現在年間1450人～1600人の利用があり、子育て支援として喜ばれています。定員は9名ですが、12人～13人利用することもあります。インフルエンザ流行期を除き、ほとんどの日で余裕があり、受け入れ可能です。子育てクーポン券も利用できます。

### Q5 「ちあぼーと」

平成28年に開設された「子育て世代包括支援センター」です。年間13,000人の利用があり、多くの子ども家族が利用しています。来所目的は、行政手続き、相談、健診、遊びであり、相談では育児に関する気軽な相談から、虐待に関連する重い相談までワンストップで対応しています。「ちあぼーと」のスローガンは『子どものことなら、なんでもまず「ちあぼーと」へ』です。とても役に立ちます。利用して下さい。



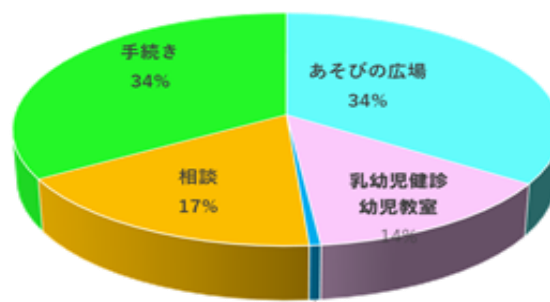
### ちあぼーと来所目的

平成28年度 13,187人



専門研修  
2%

平成29年度 12,911人



専門研修  
1%